

グラウンド除草にヤギ投入

つくばFC 作業負担の軽減やエコに



グラウンド脇の除草作業に投入されたヤギ=つくば市水堀

つくば市を拠点とするサッカークラブのつくばFCは、同市水堀にある本拠地のつくばFC万博グラウンドで、試験的にヤギを使った除草作業を始めた。

クラブのグラウンドは人工芝と天然芝がある。夏場になると、天然芝の芝刈り回数が増え、刈り取った芝

が大量に発生。また、グラウンド脇の除草作業も重労働になるといふ。

同市中根の農業関連会社「チャスキー」が、除草作業用にヤギのレンタル事業を検討。クラブ関係者と同社の藤岡潤社長が知り合いだったことから、除草作業にヤギを使うことになった。ま

た、刈り取った後の芝は、ヤギに飼料として与える。

同FCでは「ヤギを使うことで、廃棄物を飼料にする有効活用や夏場の除草作業で負担軽減とともに、草刈機を使わずに燃料や電気に頼らない環境に優しい除草作業を目指したい」としている。

藤岡社長は「人間が入りにくい河川敷の除草作業などで、ヤギのレンタル事業を考えている。ヤギは1日に体重の3分の1の草を食べるが、単位面積当たり何頭のヤギが必要になるかが検討課題。事業としてスタートできるかどうかは未定だが、今後もグラウンドで試験を続けていきたい」と話す。

(齊藤聡)